



旭山でも見られる擬態(ぎたい)と保護色の生き物

擬態とは「動物が他の有毒あるいは味の悪い動物や周囲の物に似た形・色をとること」(集英社国語辞典第一版)。そのうち、生態的に弱い被食者である種がその姿を有毒な種や強い種に似せることで捕食者からの攻撃を防ぐものを「ベイツ型擬態」といいます。旭山で見られる生き物で見てみましょう。

●ハチ目スズメバチ
(ケブカスズメバチ
(右写真中央))に擬態する
どちらも無害な昆虫、
ハエ目ハナアブの1種
(右写真左)、コウチュウ目
カミキリムシ科トラフカミキリ (右写真右)。



●ハチ目マルハナバチ (エゾオオマルハナバチ
(右写真左)に擬態するハエ目ハナアブの1種 (右写真右)
これらは、ぱっと見似ていますが、そっくりと
いうほどではありません。外敵は「ぱっと見」で
判断するので、精巧に似せる必要はないのです。



●擬態には他に、有毒な種どうしが互いに似せてお互い捕食されるリスクを下げる「ミューラー型擬態」と、捕食者が無害な種に擬態し騙すことで捕食の成功率を上げる「攻撃型擬態」があります。

●目玉模様=眼状紋は、ヘビなどの外敵の目玉があるかのように見せかけて外敵を寄せないようにする模様で、擬態の1種とされています(諸説あり)。旭山でよく見られる蝶クロヒカゲ(左写真)は翅を閉じると見られる裏面に目玉模様が入っています



●保護色とは「周囲の物に紛れるような動物の体色。それによって外敵の目をくらまし、危険から逃れる」(同)。キバシリ(右写真)が木の幹にとまっていると、背面の色と模様が見事な樹木の保護色になっていることがわかります。



●最後に紹介するクジャクチョウ。翅の表は目玉模様(左写真左)、裏は枯葉の保護色(左写真右)と、どちらも外敵対策がなされています。タテハチョウの仲間の多くは翅の裏が枯葉の保護色になっています。



この夏、いくつ見つけれられるでしょうか？

レストハウス「ぽるく」通信 2023年7月

『旭山記念公園フォトコンテストに多数のご応募ありがとうございました。近日中に上位の作品をレストハウスに展示致します。ご来園の皆様が審査員です！気に入った作品を2つ投票してください。たくさんの投票をお待ちしております。また、ぽるくでは西興部村の萩原牧場の牛乳を使用したソフトクリームを販売しております。濃厚でありながらさっぱりとしたソフトクリームを食べに来てください！スタッフ一同お待ちしております。NPO 法人手と手』



噴水の運転は毎日 10 時～20 時です

旭山野鳥メモ 51 ハリオアマツバメ

ハリオアマツバメ White-throated Needletail *Hirundapus caudacutus* アマツバメ目アマツバメ科

日本全土で夏鳥。旭山では時折「キーツ」と鳴きながら数羽で上空を高速で飛んでいる。水平飛行で最も速く飛べる鳥、約 180km/h 出る。低空飛行時に聞こえるジェット機のような鋭い風切音に驚かされる。

飛びながら眠るともいわれ、採餌はもちろん、子育て以外ほぼ空中で生活。岩場に営巣し、高速で飛んで来て木の枝などに急にとまる。

雨が降る前に低く飛ぶことから「あまつばめ」の名前がついているが、これは餌となる昆虫が雨の前は高く飛ばないためで、ツバメも同様雨の前には低く飛ぶ。「針尾」とは尾羽の先に飛び出た固い羽軸を針に喩えたものだが目視観察は難しい。

旭山ではかつて年によりアマツバメかハリオアマツバメのどちらかが見られていたが近年は本種のみ。

アマ「ツバメ」とついているがツバメとは別の目であって類縁関係は遠く(ツバメはスズメ目)、喩えるなら馬と牛ほど離れている。このように別の系統の生物が生活様式の影響により姿が似ることを「相似」という。

西岡水源池では高速で飛びながら口を開けて池の水を飲む姿が見られ、インスタグラムでその様子を上げる人が今年は特に多く、真夏の風物詩として定着してきた感がある。意外と身近な野鳥だ。



2023年7月の野鳥トピックス

- ・シマエナガ: 時々見られている程度で観察機会はごく少ないです
- ・クマゲラ: 7 月に 2 日ほど親子が森の家の周りで見られました
- ・アオバト: 鳴き声は多く聞かれ、低い位置で見られることもあります
- ・キビタキ: 囀りは落ち着いてきましたが観察機会は少なくないです
- ・コサメビタキ: 7 月中旬に幼鳥が巣立つと観察機会が増えます
- ・オオルリ: 6 月後半つり橋周辺でよく見られた時期がありました
- ・オオアカゲラ: 今年も園内で幼鳥も見られています
- ・アカゲラ: 頭頂部が前から後ろまで赤い幼鳥を確認しました

◎その他幼鳥確認: シジュウカラ、ハシブトガラ、ヤマガラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キビタキ、キクイタダキ、センダイムシクイ、ヤブサメ、メジロ、コゲラ



クマゲラ幼鳥♂↑

旭山ミニ図鑑2023年6月



コゲラ幼鳥と思われる個体



オオキノコムシやレア



スジクワガタ♂小さいが立派な大あご



キバネセセリ人の汗に寄る多い



クリの花(強烈な臭い)



ウツボグサ盛夏まで咲く



ダイコンソウ秋まで長く咲く



キクニガナ外来種別名チコリ



公式サイト

「アカゲラ通信」 第117号 2023 (令和5) 年7月8日発行

(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>

〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351